

【自転車道等の設計基準解説】

【A5判 73頁 本体価格 1,200円】

昭和49年10月14日初版第1刷発行

令和6年3月15日 第15刷発行

わが国の自転車保有台数は、昭和40年以降急激に増加し、建設省を中心に自転車道整備の気運が高まっていました。更に、昭和47年度に建設省は、当協会に対して「道路技術基準策定のための調査」を委託し、当協会では、「自転車道技術基準調査特別委員会」を設置して調査研究を進め、昭和48年3月に「自転車道技術基準案」として報告しました。建設省は、この報告をもとに取りまとめを行い「自転車道等の設計基準について」(昭和49年3月5日付都市局長・道路局長通達)として基準化しました。

本書は、その基準の実施に当たっての運用等、広く一般の参考とするため解説を加えたものであります。

目 次

第1章 総 則	1
1-1 本書の目的	1
1-2 適用の範囲	1
1-3 用語の定義	1
1-4 自転車の種類と規格	4
第2章 自転車道等の計画	8
2-1 計画の基本	8
2-2 調 査	13
2-3 路線計画	14
第3章 自転車道等の交通容量・設計速度等	21
3-1 自転車道等の交通容量	21
3-2 設計速度	25
第4章 横断面の構成	27
4-1 通行帯の幅員	27
4-2 路 肩	34
4-3 建築限界	38
第5章 線形及び視距	40
5-1 曲線半径及び最少曲線長	40
5-2 曲線部の片勾配	41
5-3 曲線部等の幅員の拡幅	42
5-4 視 距	42
5-5 縦断勾配	43
5-6 縦断曲線	45
第6章 交差接続部	46
6-1 平面交差又は接続	46
6-2 立体交差	48
第7章 舗装及び排水施設	52
7-1 舗 装	52
7-2 排水施設	54
第8章 橋・高架の自転車道等	55
第9章 安全施設及び附属施設	57
9-1 交通安全施設	57
9-2 道路標識等	59
9-3 駐車施設	61
9-4 トンネルの附属施設	65
(資料) 技術基準作成のための実験結果資料	67